



私の
**なんとか
しなきゃ!**

Vol. 19

PROFILE

1954年東京都出身。77年に俳優としてデビューし、ドラマ、バラエティー、舞台などで幅広く活躍。2007年にNHKみんなのうたでエコソング「MOTTAINAI」を発表。一躍大ブームになる。以降、財団法人日本ユニセフ協会の世界手洗い大使、ODA広報番組「地球VOCE」の海外レポーターを務めるなど、社会貢献活動に積極的に取り組む。「なんとかしなきゃ!プロジェクト」著名人メンバー。

高校卒業後、一人でヨーロッパにヒッチハイクの旅に出ることがあります。海外に強いあこがれを抱いていたのが一番の理由ですが、社会に出る前に“自分”を試したかったのかもしれない。今では想像できませんが、日本を発つ時、とても緊張していたのを覚えていますね(笑)。最初は英語もうまく話せなかったのですが、予想外のハプニングに巻き込まれたりしながらも、旅が終わるころには、国境を超えていろいろな人とのコミュニケーションを楽しめるようになっていました。

この仕事を始めてからも海外に興味を持ち続けていたのですが、国際協力が積極的に携わるようになったのは、2007年にNHKみんなのうたで流れた「MOTTAINAI」というエコソングがきっかけです。環境の大切さについて歌っているうちに、世界を取り巻く問題について私自身をもっと知りたい、知らなければならぬと思い、何か行動した

いと強く感じるようになりました。

そして「自分が地球のためにできることは何だろう」と考えた時、タレントという職業を生かしてできるのは、日本人たちに開発途上国の現状について発信することだという考えにたどり着きました。とにかく“みんなで楽しく知ろう!”が私のコンセプト。財団法人日本ユニセフ協会の「世界手洗い大使」として、子どもたちと一緒に歌とダンスを交えて手洗いの大切さを学んだりしています。またこの数年、富士山の清掃活動にも取り組んでいます。いろいろな世代の方が参加していて、楽しく盛り上がりごみ拾いをしています。仕事とはまた違う“よろこび”を共有できるのがいいですね。

2010年からはODA広報番組「地球VOCE」の海外レポーターとして毎年途上国に足を運んでいます。昨年9月には、アフリカ54番目の国として誕生した南スーダンを訪問。独立後間もない時期で、街は活気にあふ

一度きりの人生での挑戦

タレント ルー 大柴

Lou Ohshiba



れていましたが、紛争の影響で道はでこぼこ、水道や電気などのインフラも整備されていませんでした。これらの課題を解決するため、日本人専門家が現地の人とともに汗を流している姿は本当に頼もしかった。私は、日本を代表して視察の機会をいただいているのですから責任重大。身が引き締まる思いです。

今、日本の若い人たちに必要なのは一歩踏み出す勇氣。人生一度きりなのだから、海外にはぜひ足を運んでほしい。そこで得たことは、自分の人生の中で絶対にプラスになるはず。あなたの人生、そのチャンスを自分の手でつかんでいきましょう。

「なんとかしなきゃ!プロジェクト」は、開発途上国の現状について知り、一人一人ができる国際協力を推進していく市民参加型プロジェクトです。ウェブサイトを中心に、さまざまな国際協力のカタチを提案していきます。
詳しくはこちらから→ [なんとかしなきゃ.jp](#)